

16th Total Anti-aging Seminar を開催しました



コスメセッションの様子

16回目を迎えた本セミナーは、5年ぶりに現地開催となりました。2つの講演会場にて、7つの多彩なセッションを用意し、ご興味の高いセッションを選んでご参加いただける形にし、全国から多くの方にご参加をいただきました。誠にありがとうございました。

スキンケアのセッションでは、患者様満足度を上げるレーザー治療前後のケアについて、診療現場でのご活用例を4名の先生方にディスカッション形式でお話いただきました。明日からの診察に活かせるお話もあり、メモを取られている方も多く、盛況のうちに終わることができました。

座長・演者の先生方、ご参加いただきました方々、誠にありがとうございました。

今後も、医師・コメディカルの皆様のお役に立てるようなセミナーを企画してまいります。



化粧品ブース



第5回 JMEC PINK RIBBON PROJECT 活動報告

前号でご案内いたしましたピンクリボンプロジェクトにご賛同いただき、誠にありがとうございました。クレンジングソープ泡ホームケア 10周年限定パッケージ品の売上の一部は「ほほえみ基金」に寄付させていただきます。

今後も、乳がん検診受診率の向上と、術後のQOL（生活の質）向上を目指し啓発に努めていきます。



今月のPick Up

高濃度
ビタミンC*
25%

～高濃度*25%ビタミンC*で肌を満たす～
C25ブースターがリニューアル発売！！

医療機関でも
大人気！

医療機関様でもご好評いただいております、JMECの一般消費者向けブランド「JMEC be」の高濃度ビタミンC「C25ブースター」がパワーアップし、この度リニューアルいたしました。

保湿度も備えた持続型ビタミンC（VC-DG）に加え、ビタミンCへの変換時間が異なる2種類の両親媒性ビタミンC（APIS・APPS）を追加配合したことで、常に肌がビタミンCで満たされた状態へ導きます。



「C25ブースター」Instagram投稿キャンペーン！

●2023/11/30まで

貴院のInstagramアカウントにて、新発売のC25ブースターをご紹介いただくと同商品（現品）1本をプレゼント！
よろしければ、ハッシュタグ **#C25ブースター取扱クリニック** もつけていただけると嬉しいです。（条件がございます）

条件
1

指定の2つのタグをつけて投稿

#C25ブースター @jmec_be

条件
2

キャンペーン投稿した旨を JMECbe 公式アカウントに DM（インスタのメッセージ）でお知らせください

@jmec_be

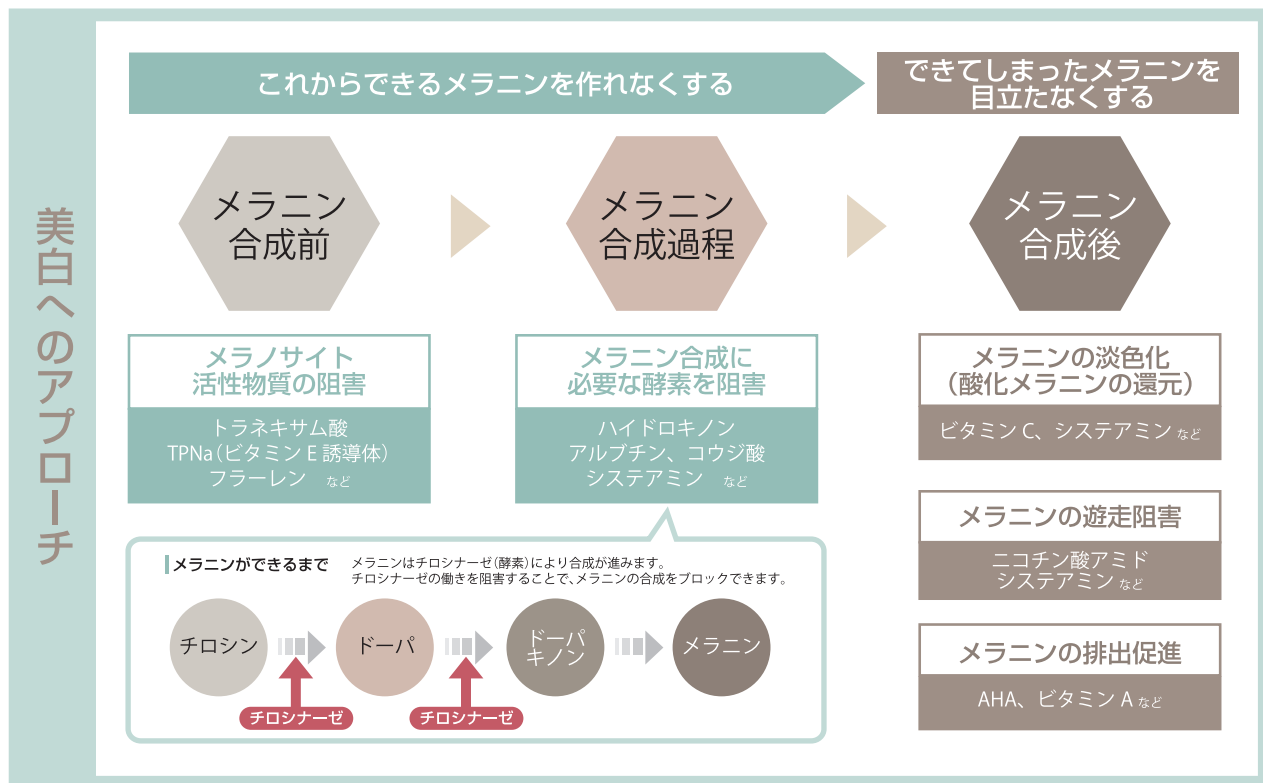


●1アカウント2回まで、●プレゼント商品は医療機関に送付するため、所属医療機関が分かる公開アカウントであれば何名様でもOKです。●弊社でご投稿を確認後プレゼントを発送いたします。12月中旬までには発送予定です。●紹介頂いた投稿はストーリーにて紹介させて頂く場合があります。



美白治療シーズン到来！

秋～冬は紫外線量が少ないため、美白治療に最適なシーズンと言われています。
 美白治療と併用される成分は多くあり、それぞれ異なったアプローチで美白作用が期待できます。(下図参照)
 なかでも、美容医療で用いられる代表的な成分としてハイドロキノンがあります。今回は、ハイドロキノンについて、ご紹介いたします。



美白治療の併用おすすめ成分 No1

ハイドロキノンについて

ハイドロキノンは、チロシナーゼの活性を抑え、メラニン生成を抑制する作用が期待できます。
 その効果は、コウジ酸やアルブチンの数 10 倍～ 100 倍ともいわれていますが、副作用として赤みや刺激、長期使用による色素脱失の可能性などがあります。
 また、非常に成分の安定性が悪く、温度変化や経時変化の影響を受けて変色しやすい成分でもあります。
 このように、使用に際して十分に注意が必要のため、主に医療機関で取り扱われることの多い成分です。

ハイドロキノン(4%程度)についてよくあるご質問

Q：ハイドロキノンの継続使用期間と、使用を再開させる場合の期間はどのくらいが妥当ですか？

ハイドロキノンの継続使用期間について実施したアンケート*では、単独使用やPIH対策などの目的に関わらず、約6ヶ月までが妥当だという回答が約60%でした。

使用を再開させる際は、前回の使用から約3か月ほどあけると回答を多くいただきました。

・ハイドロキノンの休止期間中はどんな成分を使用すればいいですか？

効果や副作用のリスクの面から、ハイドロキノンと異なるメカニズムで働く美白成分を選定される先生が多い印象です。併用でも同様で、トラネキサム酸など作用機序の異なる美白成分がよく選ばれています。

*第122回日本皮膚科学会総会(2023年6月1日～4日)にて医療従事者に実施したアンケート(n=381)